

六稿倉

NO.16 1983・9・15

一一〇周年記念総会御案内

昭和58年9月15日発行
大飯中学校高等部1775
同上
中学校高等部新規野2-6-13
電話番号 03-586-13
郵便番号 106-002
支局名 東京市江戸川区役所
印刷業者 三元社



本年度 110周年記念 総会

は
母校発祥の地 難波で!!

会場 ホリディイン南海 (同封チラシ参照)

南区久佐衛門町28-1 ☎ 06-213-8281

地下鉄心斎橋 又は難波駅下車

御堂筋東側 心斎橋と難波のほぼ中間

道頓堀橋東北詰め

日時 11月23日(勤労感謝の日)

正午受付 午後1時から5時まで

卓話 弁護士 黒田 了 一 氏 (昭和3年卒・41期)

『砂漠化の愁い』

催物 コーラス 稜声会 (音楽部O.B・O.G)

混声合唱

『組曲 カムイの森で』 作詞 萩原 貢
作曲 広瀬量平

会費 5,000円 (立食パーティ費用。ビール飲み放題)

ご挨拶

名誉会長就任にあたって

名誉会長・校長 村田義人

昭和35年から23年もの永きにわたって、本校の英語科教諭・教頭・校長として、多くの輝かしい業績を残されて、この春ご勇退の泉悌二先生の後任として、4月1日付をもって、この最も光輝ある伝統をもつ北野高校に着任いたしました。

皆様方もご承知の通り、昨今教育界にはいろいろの難問が山積し、特に昭和63年までは高校生の急増期に当り(65年以後は急減)、教育行政面でもいろいろ無理を承知の施策が余儀なくされようとしている時期だけに、占領下の試行錯誤期や、学園紛争の混乱期以上の覚悟をもって臨まねば、と思っております。

幸いにして本校は、いずれの学校もまねのできない有難い文化環境に恵まれています。創立以来培われて来た伝統と、豊かな各方面に活躍する諸先輩の存在こそその最たるものであります。本年は創立110周年という記念すべき年に当たりますので、このかけがえのない文化環境に対する認識を新たにし、将来のためにさらに一層それを整備充実させたいと思います。

そのため、記念誌の発行や記念式典、記念講演(50期の大坂医科大学長早石修先生にお願いしています)、先輩作品展示会、記念植樹(万葉植物園の造園を含む)等を計画していますが、資料等のご提供その他格別のお力添えをよろしくお願いいたします。

私はこの得難い機会に、北野の先輩各位がどのような部門でどのような業績を残しておられるかといったことについての認識を深めるようすにもと、先輩著作リストの整備や六稜文庫の拡充等も漸次進めて参りたいと思っていますが、行く行くは、かなりの準備期間をかけて、例えば「人物北野○○○年—わが友を語る」といった本の作られることを期待しています。

ところで、いろいろ皆様方のご心配を頂いております校舎の件でありますが、昨年本館南外壁庇部分のコンクリート塊が落下するということがあり、本年に入って、本館校舎に対する全面的調査を実施しておりますが、たくさんの卒業生のいろいろの思いのこもった、わが国建築史上にも記念すべき校舎でもあり、またRC建築に対する保存技術がこれからどんどん開発されて行くこともありますので、危険を防止しながら、「現状保存」を基本方針として対策を講じて参りたい所存です。講堂なども、教育的效果の面から見て、じつに得難いすばらしい建造物だと思います。

1学期の期末考査の後、国際感覚涵養の一助にもと、青年会議所のきもりもあって、在阪各国留学生と本校生の交流会をもちましたが、留学生諸君の方も、報道機関などから得ている日本の高校に対するイメージを大巾に修正したようでした。まちがったイメージはまちがった判断を導き易いものであります。これからますます教育に対する雑音の多い世の中になるでしょうが、何が本当に教育的であるかをじっくり考えて問題に対処して行きたいと思います。

(ご略歴) 大正14年三重県でご出生。府立今宮中学から旧制大阪高校文科甲類を経て京都大学文学部哲学科卒業(宗教学専攻)。その間1年半学生出陣で中国へ。昭和25年より51年まで社会科教諭として今宮高校にご奉職。牧野高校、藤井寺高校教頭、堺東高校校長を歴任して、昭和58年4月1日、本校校長としてご着任。

年会費は2,000円です!!

よろしくご協力をお願いします!!!

年会費制度の採用により、随分と同窓会運営に余裕ができ、総会の運営・会報の発行、その他の事業も順調に進めてまいりました。ご協力を感謝し、謹んでお礼申し上げます。

年会費は2,000円になりましたが、逆に納入者が減ってはなにもなりません。何卒この間の事情をご了解いただき、旧に倍するご協力ご協賛をお願い申し上げる次第です。納入は郵便振替を利用して下さい。

番号 大阪9-068025 名称 六稜同窓会

昨年の総会から

卓話

日本経済の行く方

読売新聞東京本社論説委員 国政恒裕（65期）

只今紹介いただきました国政でございます。非常に大きなテーマをいたいたのですが、皆さんのが一番関心をお持ちだと思われる景気の今後の見通しとその対策を円安の問題もからめてお話ししようと思います。

景気の短期見通しは実はその予測が一番むずかしくとても断言できません。ただ、どこに行っても景気が悪いと聞かれるのですが、決してそうとばかりはいえない面があります。コンピューターのソフト産業や第三次産業に属する部門も景気はいいとさえいえます。先日の経済対策閣僚会議では今年度の経済成長率3.8%と訂正されました。確かにかつての高度成長期の15%に比べれば悪いが、まあいい線ではないかと思うのです。

大蔵省の見解ではここ4、5年は3%、通産省はやり方によっては5%と、その見通しを立てているが、いずれにしても4、5%の低成長は覚悟しなければなりませんし、それに対する追加的な景気刺激対策はないみたいといいます。総理大臣に誰がなるかで、今の政界は非常にゆれていますが、誰がなろうとそのことには変わりなく、最有力の中曾根さんなら行革一筋でなおのこと新しい景気刺激対策は期待できないでしょう。財界もニュアンスを異なるのは永野さんだけで景気刺激よりも行革という考えが主流ですし、閣僚の中でも河本さんだけが、景気刺激に積極的ですが、彼は財界からは浮いた存在になっている。そう考えると景気刺激は期待できそうにないのが現状です。しかし、ここで考え方を変えましょう。

日本の経済レベル、国民の生活レベルは世界一流です。こういえば必ず反論がありますが、衣食に関しては、ソ連・中国・西欧は問題になりません。アメリカと並んでトップレベルにあります。住宅は違うだろうと言われますが、確かに衣食ほどではない。しかし、東京・大阪を別格とすればそれほど悪くはない。新しく建てる住宅の質はその広さの点をのぞけばかなりトップレベルに近いといつていいと思います。

こうした非常に高い衣食住のレベルを保ちながら、4、5%にせよプラス成長をとげているのはきわめて貴重な存在といえるでしょう。他の先進諸外国でもプラス成長している国は少く、アメリカでも今年から昨年にかけてのマイナス成長をまだ回復してはおりません。

福祉は悪いだろうといわれますが、ところがこれもトップレベルです。年金の給付水準をみると、最も加入者の多い厚生年金を例にとれば標準モデルで月に15万円、加入年限の少ない人が給付を受けていますから現状では平均11万円、これはアメリカの10~11万円、スウェーデンの9万円と比べてもいかにトップレベルにあるかということがわかるでしょう。その意味で、日本は先進国にな

りつつあるともいえるのですが、現在の、非常に高い健康保険・年金制度のレベルを維持し、なおかつ3%の成長をつづけるとすればこれは世界でもまれな幸せな国といつていいと思います。低成長・安定成長といわれるが、世界的な不況の中で今のレベルでも決して悪くはないと思います。今じっと我慢しておけば、将来高度成長の時期が来ればもっとよくなるだろうと思います。

円安はどうかといわれるが、これはどうなるかよくわかりません。ただ今の円安の原因を理解すれば展望も開けてくるでしょう。今の円安は日米の金利差から生じています。確かに金利差は縮まっていますが、まだ金利差はあります。円安の最も大きな原因是、日本企業の海外支店の経費をすべて日本から送金している点にあります。そのため東京為替市場では慢性的なドル不足から円安を来たしている訳です。国際収支の中の長期資本収支に注目していただきたいのですが、今年の初めから150~160億ドルのマイナスになっています。年率200億ドルをこえる資本が外国に流れているわけですが、現在の日本の外貨準備高が240億ドルほどですから、円安になるのは当然といえます。これに対して政府にはうつ手がありません。アメリカは金利をさげてくれていますが日本は景気刺激対策上、金利を上げることはできません。今の日本の政策当局はただじっとアメリカが金利を下げてくれるのを待とうというねらいのようです。円安はここしばらく続かざるを得ませんが、日本の経済基盤からいうと現状の円安はいきすぎです。来年の春頃には好転するのではないかと期待をこめて考えています。

それから先ほどの話に関連しますが、長期的な話題に移りますと、今、日本は先進国病になることが非常に心配されています。戦後の経済復興のお手本とした西ドイツが、今ここ数年非常におかしな状態になっています。それは彼らが働きなくなったからです。マルク高の時期に、海外旅行熱が高まり、一ヶ月の夏休みをとるという怠け癖がついたからです。日本はもう少し休んだ方がいいですが、しかし、先進国病にならないためには必ず第一に勤労意欲を失わせないこと。第二に貯蓄意欲を失わせないことです。第三に行革と関連しますが、小さな政府を実現することです。意外と思われるかもしれません、日本はすでに大きな政府となっています。国民の所得ベースにみる租税負担率・社会保障負担率は35%に達しています。45%にはなるだろうといわれていますが、70%に達したスウェーデンは国民が勤労意欲を失ってしまい、政府はあわてて64%迄下げたということがあります。ですから是非とも小さな政府を実現せねばなりません。第四に技術革新をやるべきです。産業を振興し成長率を高めるためには必要です。

従って長期的には以上のことに留意しなければならないだろうと思います。時間があまりませんのでこの辺で失礼いたします。

〔要旨〕

東京六稜会第26回総会報告

— 和をもって尊し —

東京六稜会幹事 黒岩謙一(75期)

東京六稜会第26回総会は、定例となっている6月の第一金曜日である3日の日の午後6時より、最近の常会場となっている日本工業俱楽部（東京、丸の内）で開催された。

定刻の30分以上も前から続々と熱心な会員が集まり、大山利雄常任幹事（56期）の司会により定刻の午後6時に開始された。

最初に玉置敬三東京六稜会会长（38期）が挨拶に立ち、「本日の出席予定者は、約240名であり、過去最高の人数になる見込みです。加えて、母校より村田校長先生と溝脇先生（65期）、高岡先生（78期）のご出席。最も年長の先輩は、大正3年27期の三木さん。50人の新会員のうち30人がご出席予定。色とりどりの楽しい同窓会となりました」「聖徳太子は、和をもって尊しと言われた。米国に代表される契約型社会に比べて、和を尊ぶことで、終身雇用制など日本独自の制度のもとに生産性を向上させ、米国を追い抜く産業が出るまでになった。この精神は、同窓会にも通ずることと思います。年令を超え、人と人との触れ合い、和を求める場として、今宵は、大いに親しみ合いましょう」とご報告、ご挨拶された。

続いて、拍手に迎えられ、この4月に、堺東高より北野の校長になられた、村田義人六稜同窓会名誉会長がご挨拶された。

「今年は、110周年記念になります。記念誌の発行、文化環境の整備をこの機会に行いたいと思っています」と近況や計画のお話しを混じえてご挨拶された。

続いて司会の大山常任幹事より幹事報告があり、「110周年記念総会（11月23日ホリディイン南海）の案内」、「来年の東京六稜会総会は6月1日の第一金曜日に開催予定」、「今回より総会費6千円にさせて頂いた。時節柄ということでご了承をお願いしたい」などに加えて「会計報告」され満場の拍手のもとに承認された。

総会の締めくくりとして、恒例になっている講演に移った。演者は、外務省北米局長の北村汎氏（59期）で、前日まで、サミット会議のため中曾根總理に同行され帰国されたばかり。演題は、「最近のアメリカ事情あれこれ」。

大きな拍手の中、北村氏が立たれた。

「私は、北野中学へは、開戦のとき入学、終戦のとき卒業で、しかも、4年卒という異例の時代でした。後半の2年のうち、1年は土方で、防空壕や貯水池作り。残りの1年は中津のスレート工場での勤労でした。その中津にいた時、焼夷弾が校舎に落ちて中津からかけつけたのを憶っています。そんな時代でしたので自分が本当の北野の伝統を受けついでいるか心配ですが、当校の特徴としての自由すぎる位の自由がそんな時代にもあり、自由な考えがあちこちに見られました。中津のスレート工場

へ引率された漢文の先生が、昼休みの間に英語の新聞を読み、「いずれ戦争は終る。英語が大事だよ」と言っておられた。あの当時で、そんなことを言うのは大変勇氣のいることでした」と思い出を語られ本題へ入られた。日米は、経済、食料、安全と全ての面で密接な関係にあることを実例をあげて詳しく述べられ、「日米は、かけがえのない関係であり、その厳しさ、重要性を認識し、ある程度の譲歩をし、全体として得を取る。そういう関係が日米関係です」と結ばれた。

生々しい迫力あるご講演に大きな拍手が送られ総会は無事お開きとなり、続いてお待ち兼ねの懇親パーティとなつた。

場所を移した会場で、福井澄男氏（55期）の司会で賑やかに開始された。最初に当日の出席者の中で最長老の三木元三郎先輩（大正3年27期）が指名され立たれ「私は、明治30年1月1日の生まれです。そのため、この年になるまで、オメデトウと年始の挨拶をされても誕生日オメデトウと言われたことがありません」と会場を笑わせ、86才と思えぬ程元気に、乾杯の音頭をとられ、万雷の拍手が湧いた。

その後は、各テーブルを囲み、各人、懐しい顔をみつけて、幾つも談笑の人の輪ができ、いつもの誠に賑やかな会場となつた。

暫く自由な談笑が続いた中、頃合を見計って司会より例年ビールの寄贈を頂いている朝日ビールの中小路茂次専務（58期）が指名され、挨拶された。

続いて祝電の披露となり、上野淳一六稜会会长（41期）、松本善明氏（57期）、亀山仁郎氏（47期、岐阜在住、本会の創立者のおひとり）の電文が紹介された。

恒例となった、新人会員の紹介に移り、昨年入会した安田達史君（昭和57年卒）の司会により、30人のこの4月に東京地域の大学に入ったばかりの若々しい会員が、名前と大学名を呼ばれ次々と登場した。一人一人の紹介が終った後、新人会員を代表して中村仁美さん（女性ですぞ！）より「今日、この会に参加させて頂いて光栄です。初めて北野の有難さが解りました」との挨拶に、大きな拍手と声援が送られた。

いよいよお開きの時刻も近づき、かって、ラクビー一天中戦での応援団長であられた、中村典美氏（49期）の音頭のもとに、校歌と応援歌の大合唱となつた。「フレーフレー北野」の大エールを潮に、名残りを惜しみながら、お開きとなつた。

まさしく、年令を超えて、人と人が触れ合い、和の尊さと素晴らしいを感じさせてくれた26回総会がありました。

東京六稜会事務局

〒154 東京都世田谷区若林3-1-18

大山利雄 気付

電話 03-421-0693

会 務 報 告

110周年記念総会

11月23日（勤労感謝の日）

難波 ホリディイン南海で

同窓会名簿完成 予約外は11月より発売

申込みは 郵便振替

大阪 1-309004

六稜同窓会名簿刊行会

価格 3,000円

新役員ご紹介

名誉会長：村田義人 理事：水野満
(S58・95回)、西村典子(S58・95回)

会務報告

(1)第1回常任理事会（兼 110周年記念総会企画委員会）1月21日

(2)第2回常任理事会 3月4日

(3)第1回理事会 4月18日

110周年記念総会の件

(1)日時 昭和58年11月23日(木)勤労感謝の日

12時受付開始 午後1時開会

(2)会場 ホリディイン南海 2階・4階

(3)会費 5,000円

(4)講師 黒田了一氏 (S3・41回・弁護士)

(5)アトラクション コーラス部OB
責任者 田中秀康氏 (S46・83回)

(6)演出 西村一男氏 (S22・60回・ABC制作局長)

(7)記念品 対象：出席会員、出席旧職員、現職員、在校生徒

名簿発行の件

(1)定価 一部3,000円 4,000部印刷

(2)スケジュール

5月20日 S49・86回～S54・91回、勤務先調査開始

6月3日訂正した台帳及び広告・

表紙・付物の原稿を凸版印刷へ手渡す

9月15日より印刷→製本

10月10日予約者へ名簿を郵送

(3)名簿の内容は5月31日現在とする会報の件

(1)110周年記念特集 同窓会及び学校行事内容の案内

(2)紙面を読みやすくするため活字を大きくする

会計報告 (監査は5月7日(土)1時より校長室) 会計報告別紙の通り

その他・連絡

(1)名簿訂正 (学年理事が来校の上訂正する) 日：5月19日(木)～25日(水)

(22日㈭もお越し下さい) 時：午前9時～午後5時 (時間がかかりますから早めに) 場所：学校旧図書館(元六稜会館)の1階(運動場バックネット裏)

(2)名簿校正(再校) 日：7月14日(木)～7月17日(日)の予定 場所・時間は上記(1)と同じ

本年は母校創立 110周年にあたるので、57年度理事会においては、朝日

シンフォニーホール(総会・行事)、プラザホテル(懇親会場)を利用して

記念総会をすることに決定、予約ま

でとりつけたのであるが、懇親会場が高価になりすぎるので、この案はとりやめ、本年58年度第1回常任理事会では、学校との意向であったが、これは支障が出て、三転して第2回常任理事会でホリディイン南海で総会と懇親会を一度にしますときました。学校から遠いといつても、北野発祥の地難波御堂に近くおかしくないと判断である。総会費も、当初3,000円を5,000円とアップしたのは致し方のないこととの意見に従った。

アトラクションについては当初、朝日シンフォニーホールを使うということで、オーケストラなど盛り沢山に企画したが、ホテルの使用ということで、コーラス一つにしぼった。

第1回常任理事会で美術展開催との声もあったが学校主催にと申し入れもあり、同窓会としてはとりやめとなった。

記念総会のタイムスケジュールは、次のようない定。

110周年記念総会

[58年11月23日(木)ホリディイン南海]

受付開始 12:00～1:00 2階

開会 1:00～1:05

挨拶

会長 1:05～1:10

名誉会長 1:10～1:15

祝辞

東京代表 1:15～1:20

来賓代表 1:20～1:25

講演

黒田了一氏 1:30～2:15

休憩時間 2:15～3:10 4階

コーラス 2:25～3:00

祝宴 3:10～5:00 2階

開宴 3:10

乾杯

校歌齊唱

閉会 5:00

お詫び

去る5月に同窓会事務局が若い卒業生の皆様に対し住所等の調査を行いました折、印刷から郵送までの一環作業をすべて弊社が責任を以てお引き受けしましたのに、古い資料を印刷してしまいました。

その結果、同窓会事務局に、変更届を出したのに訂正されていないという苦情があり、大変ご迷惑をおかけいたしました。

卒業生の皆様はじめ関係各位に不愉快な思いと多大のお手間をとらせましたことをここに深くお詫び申し上げます。

凸版印刷株式会社

会計

昭和57年度 六稜同志会 一般会計報告

科 目	57年度予算	57年度決算	備 考
収入の部	円	円	
1. 前年度繰越金	5,130,794	5,130,794	
2. 会員収入	1,679,000	1,671,000	1,671人× 1,000円
3. 年会費収入	4,700,000	5,233,500	
4. 広告収入	300,000	530,000	
5. 隨時会費収入	450,000	322,500	
6. 寄付金収入	10,000	10,000	
7. 利息収入	130,000	130,274	
8. 総 収 入	10,000	0	
収入合計	12,409,794	13,028,068	
支出の部			
(1) 連苦費			
1. 人 件 費	1,000,000	483,260	
2. 旅費・交通費	200,000	144,496	
3. 通 信 費	400,000	76,260	
4. 印刷・事務用品費	100,000	5,080	
5. 会 員 費	300,000	258,425	
6. 総 会 費	1,000,000	577,035	
7. 慶弔費	500,000	731,220	
8. 総 費	150,000	144,775	
(2) 会報発行費			
1. 編集費	100,000	60,000	
2. 印刷費	1,400,000	1,519,000	
3. 発送費	1,200,000	1,174,670	
4. 総 費	10,000	0	
(3) 予備費	4,549,794	0	
(4) 他会計へ支出			
1. 基金積立会計	500,000	500,000	
2. 名簿特別会計	1,000,000	1,000,000	
支出合計	12,409,794	6,674,241	
次年度繰越金	0	6,353,827	

③ 会報の封筒をよくみて下さい

▲ 本年より事務局台帳の個人番号を固定いたします。従って此度の会報の封筒の番号があなたの番号です。今後は卒団・年と同時に個人番号をも併記して下されば、事務処理上助かります。

▲ 尚、封筒の水印は、前年度の年会費納入の印です。本年の場合は、57年度の年会費が納入されていることを示します。本年度分ではないのでご注意下さい。

④ 理事選出のお願い

六稜同志会会則第5条で、各年度ごとに理事1名(63回よりは男女各1名)を選び本会に報告することになっております。理事は理事会でその年度の意見を同志会に反映させることができます。同期の同志会で連絡を密にすることによって名簿も正確になります。まだ、理事を選出されていない年度は、かならず選出して本会に御報告下さい。

報 告

昭和57年度 六稜同志会名簿特別会計報告

科 目	予 算	決 算
収入の部	円	円
1. 前年度繰越金	2,696,989	2,696,989
2. 名簿売上収入 (百周年記念名簿予約金)	6,000,000	7,002,000 (2334円)
3. 広告収入 (百周年記念名簿取扱各店販賣)	0	140,000
4. 利 息 収 入	100,000	283,593
5. 一般会計より受入	1,000,000	1,000,000
6. 総 収 入	1,000	0
収入合計	9,797,989	11,122,582
支出の部		
1. 編集費	50,000	0
2. 印刷費	300,000	876,760
3. 発送費	0	0
4. 総 費	140,000	117,110
支出合計	490,000	993,870
次年度繰越金	9,307,989	10,128,712

昭和57年度 六稜同志会基金会計報告

科 目	決 算	摘要
収入の部	円	大和銀行
1. 前年度繰越金	18,867,436	内訳：金錢信託15,898,029
2. 利 息	1,376,221	定期預金 1,072,500
3. 新規積立金	500,000	普通預金 1,896,907
収入合計	20,743,657	
支出合計	0	大和銀行 内訳：金錢信託15,630,609 普通預金 5,113,048
次年度繰越金	20,743,657	

事務局より

① 110周年記念名簿について

▲ 名簿作成作業は順調に進んでおりますので、予定通り予約いただいた方には10月中にお手元にお届けできる予定です。

▲ まだ十分に余裕がありますので、奮ってご購入下さい。購入方法は次の通りです。

口座番号 大阪1-309004

加入者名 六稜同志会名簿刊行会

代 金 3,000円

〔郵便局の振替用紙をご利用下さい〕

▲ 名簿中二期以上にまたがっていた会員は原則として卒業の期に採録しましたが、気付かず尚そのままの方もあり、又勤務先の記載もなるべく統一をもたそうとしましたが尚不十分で、徹底を欠いたことをお詫びします。

▲ 110周年記念名簿の広告に多数ご協賛いただきまして有難うございました。広告の印刷は9月に出来上ります。出来上りしだいお礼状にそえて請求書と振替用紙をお送りいたしますので、広告代金の振込をお願いいたします。振込の控えをもって領収書にかえさせていただきますのでご了承下さい。

北野戦後史



題字 泉 梯二前校長

一連載第6回

六稜曼荼羅

川井義通

筆者漫録

これから書いてゆく事柄は「子褒め」「自画自讃」の類でもなく、又小綺麗事を当たらず触らずに並べて、程々にお茶を濁して終わるという体のものでもない。筆者が戦時中着任して二十数年後に退職するまでの経験を、そこはかとなく述べたもので、雑事の羅列に過ぎない。曼荼羅の如く金剛界・胎藏界の有り難い内容のものではなく、唯一寸気取って仏語を借用したまでである。現代までの世相の中で、結構なことが、そう沢山氾濫している訳のものでないことは、改めて言うまでもない。「すべての過去は美しい」という言葉は西洋から来らしめるが、それも現在に近づくにつれて回想的甘美感は希薄になり、遠くへ渦るほど濃厚になるのは、人情の自然といふもの。筆者の記事も古いものに偏在し勝ちになるのも理の当然。余り堅いものは誰も読まないのは一般乍ら、元々学芸そのものに憧憬して学校を希望する訳でないの、卒業してしまえば堅苦しいものは御免となるのも致し方のないなりゆき。

日中戦争から太平洋戦争にかけての15年間にわたる動乱も、末期に近づくと相当な異常状態に陥って、浮き足立った混沌の中に、秩序の崩壊さえ萌し始めると、軍部は一層居丈高になり、官憲もその尻馬に乗って「鬼畜米英」「一億玉碎」が絶叫される。教師族なども「国家非常事態」を標榜して学生徒達を督励し、大学では学徒動員で軍事訓練が連続し、遂には「神風特攻隊」が編成され、悲壮な出撃となり、征いて帰らぬ護國の鬼となつて散華していった人々も多かった。

筆者はどうにも通り場のない焦躁と不安に駆り立てられながら、心の安定を模索して何かの足がかりはないものかと思い、飄然として北野中学校に転任したのである。

生徒漫描

裏門一大方の生徒職員一般人の出入口。朝そこを入ると、上級生の週番が軍隊の週番士官よろしく、サーベルをぶら下げて登校生徒を監視していて、生徒達は拳手の礼をして入ってゆくが、その際服装態度等で不都合なものがあれば直ぐ様忠告——一般的の生徒達にとっては、一寸の間の緊張時である。通路の右手にはブルを隔てる樹木の繁みがあり、左手には道に沿って數本の枝垂柳が立ち並んでいたが、周辺の改装でその柳が取り払われた時には、生徒の一部には一寸した感傷が湧いたそうである。

着任して担当の各クラスを順次講義して回ったが、その時の印象が二つ。(1)いかにも賢明そうな生徒が多く集まっていること。(2)聽講の態度は端座で精神が顔面に凝集しているものの如くであること。これでは転任して来た甲斐があったという次第であった。

彼らは家でも予習復習などは全然しないのが建て前であるらしく、教室で教わったままが正味の学習効果と心得ていて、孜々汲々として勉強するのはアカン部類に属するものの如くであって、そうしていても試験の成績が優秀であれば、初めて自他共に「頭がよい」と認承され評価が確定し、それが名門校たる所以の象徴の一つでもあったかのよう。教師については生徒間では「あの教師」「この教師」と言うのが普通であって、流石秀才校だけの見識の片鱗をのぞかせていたようである。

戦時中上級生が一人の伝令を出して、或る教師に生徒の靴箱集合所へ来てもらうように申し出たので、柔道五段の腕前で頑強大柄の専門教師が代わりに出向くと、生徒達がアッと言うまに解散。剣道の教師が出た場合もあったよう。卒業時一人の教師をブルにほうり込む算段で、又その他の類似の件で、代表が呼びに来るが、いずれも未遂に終わったようである。今日の学校暴力事件未遂の先例みたいなもの。いつの時代にも似たような事が持ち上がるるものである。

戦後になって生徒間の喧嘩で暴力を振るった者は処罰会に謀られ、ものによっては停学—父兄召喚という順序になる。相手も全く無罪というわけではなく両成敗のようであったが軽かったよう。

戦時中旧制中等学校関係に「教護連盟」というのがあって校外での生徒の監督指導に当たったーいわば「現代版新撰組のパトロール隊」とでも申すべきもので生徒達にとっては恐るべき組織であった。父兄同伴以外の生徒に対する立ち入り禁止場所として、①百貨店、②映画館、③飲食店等々。方々の学校の選任教師は、「証明券」のようなものを持って適当な時に、方々を巡察して若し違反生徒を見つけると、所属学校・学年・組・氏名等を聞き糾して記帳しその学校へ報告一学校では処罰会議—父兄召喚という筋書きになる。北野にもそんな帳簿があった。

戦争が紧迫してくると、三年生以上が所謂「学徒動員」として、工場等へ勤労奉仕に出向き、組担任は、国民服・戦闘帽姿で監督に当たり、又その出先き関係を巡回して相互間を連絡する係の教師もいて、戦時体制らしい形をとっていた。

1・2年の生徒達は授業のあいまに、要請に応じて勤労奉仕隊として近くのあちこちの空き地に防火用水池を作りに行き、四角形に近い形で粘土を主として用いて構築した。大きさは一辺5m前後。焼夷弾による延焼を避けるために町の一部が疎開と称して立ち退きになった人々があつてそれを撤去する作業にも従事した。何のことではないガランドウになった家の都合のよい柱に太綱を取りつけて、みんなで一齊に一方向に引っ張るのである。瓦葺きの家屋が轟音と共に倒壊して、土煙が滾々とあたりを立ち込め暫くは息を止める位であった。その瞬間、

爽快な気持ちと果無い気持ちとが矛盾しながら錯綜するのを覚えると共に、幼児が無闇に物を破損したり、異常者が他物を汚損したり放火したりする心理には、上述の心理と何か似通ったものがあるのではないかとの妄想めいたものさえ感じた。廃材は奉仕隊にも分配され大八車で持ち帰り校内の空き地に置いて燃料用とした。

運動場の中に幾筋もの防空壕が、在郷軍人達の手によって造られた。空襲警報が発令されると生徒達は教師の指示に従って、暗いその中にもぐり込んで解除になるのを待つ。或る時の空襲で焼夷弾が、覆土を突き破ったために、二人の生徒の命がその犠牲となった。淀川堤防で茶毬に付したのは何とも悼ましい限りであった。

運動場の北辺に、東西に長く高い板塀があつて、その北側には成小路国民学校—今的小学校—があつて、北野中学校へ入学するために、わざわざ転入してくる学童もあつた由で、いつの時代にもよく似た現象があるものである。この学校の校舎は古びた木造の二階建てで、焼夷弾の洗礼を受けて、ひとたまりもなく焼失した。今日その校地の一部が、北野の北部の園地に組み込まれている。

残り生徒は学校防衛の任務を帯びて、毎晩交替で10人前後の者が一教室に宿泊していた。暑い頃には蚊帳はあっても蚊の来襲のため大分弱ったようである。昼夜の別無く空襲警報の出た時には、御真影や教育勅語など人命より大切なものが、校長室の奉安庫から、校長の手によつて奉持され、運動場の東端近くに設けられた土壇下のコンクリート造りの奉安所に安置された。校長公舎の庭にも小さい塹があつて、或る当直の夜、何かの拍子に誘われてその中に入つてゆくと、校長は御神酒の瓶を持っておられて一杯頂戴して神護を乞い願つた次第。「忙中閑あり」の類なのか、全く以て恐縮してしまつた。或る夜の空襲。敵機退去後当直教師が屋上から東方を眺めると、あの十三大橋の上部の鉄の構組に焼夷弾の轟が引っかかるまま発火して青い閃光がきらめき、そんなのが南北に何個か並んで怪奇な様相を呈したそうである。光の色は違うが、子供の頃よく聞いた「狐の嫁入りの提灯行列」をフト思い出させる光景であったそうである。

翌朝筆者も通勤の途上十三の産業道路—現在の国道一歩道から見ると、アスファルトの上のあちこちに焼夷弾筒が半ば突き刺さつたままになっており、校庭でも同じ光景が見られたが、爆薬が燃焼すみであるのか、不発に終わっているのか、素人にはわからないので迂闊には触れなかつた。それもいつのまにか取り除かれてなくなつたようである。

生徒が用事で職員室に来る時には、ドアの内側に入つて直立して大声で学年・組・氏名を名乗つてから、所用の教師の所へ行って同じく名乗つてから用件を述べる。或る時一生徒が或る教師の前に来て直立不動の姿勢で上半身を軽く傾けて敬礼をした後、相手教師の名前を申し上げる段になつてその名前が出て来ないので言えなくなつて立ち往生しどろもどろの困却の体。そこでその教師は徐ろに低音でゆっくりと「いーつーもー〇〇〇、〇〇〇とーわーしーのーアーダーナをーいってーいるーも

ーんーやーかーら、とっさーの一とーきーにーはー出ーてーこーんーねーんーやーろーう」生徒は措置に窮して顔から火が出そうであったが、何とか用件だけはすませて、ほうほうの体騒苦で退出した。他の教師達はおかしいのと同時にその生徒が可哀そうに思えた。この「ゆっくり物言い教師」の話はいずれ又後出。

次は農作業の話。当時の学校長は前任校で休閑地・荒蕪地一出征や勤労動員等が多数のため放置された土地が相当あった—そういう土地を活用して、生徒の勤労精神を鍛錬し併せて食糧増産の国策に賛与する方策の実施で、その成果が高く評価されていたという話。

その学校長が遠い任地から遠々当北野中学校へ転出して来たのであるから、持ち前の腕前を教えて眠らせて拱手しているはずがない。

間もなくその経験が実動し始めた。先ず運動場とテニスコートの烟化。次に学校一淀川堤防との間に点存する休閑烟地の借用。職員にも一部を分与してもらって、素人でも作り易い甘薯などを植えつけたが、趣味というような気楽なものではないので皆熱心に作業した。或る時あき時間に将校軍服姿の教師が南側の烟を見廻つてみると、それを遊放時の生徒達が目ざとく見つけて三階あたりのあちこちの窓に鉛なりに顔を集めて、黄色い大声でその教師の綽名を連呼する。当の教師は「我不聞焉」と悠々として相変らず漫歩しておられた。筆者もその烟に居合わせていたが、幸か不幸か綽名を喚かれずにすんだ。恐らく揶揄するほどの魅力に欠けていたのであろう。

一方、運動場方面の急造煙地では南北に塙から端までの長い畝を東西に幾筋も造つて、それにナンバ黍の苗を沢山植えつけその条間にも円形小烟を多數造つて、それに甘薯苗をさした。そこで先述の「ゆっくり物言い教師」のご登場を煩わすことと相成る—この教師は生徒の扱いが巧妙で能率の上がることがおびただしく筆者のような拙手ではない—その教師は烟の肥料拾集係で何人かの生徒に例の大八車を引かせ大きい道路などに置きざりになつて馬糞牛糞を拾い集めるのである。当時はトラック等が殆ど軍部に徵發されて、物資の運搬は大概四輪の馬力か牛力の類によつたのであって、それが大八車のお得意であった。生徒達も授業を受けているよりはマシといふので、教師共々勢い込んで活潑に活動する。そこら辺をひとわたり回つくると一寸した収穫になる。そのお蔭でナンバも甘薯も大量作。周辺の校舎等を除いて眺めると純然たる農村の烟風景。ナンバは大人の背丈よりずっと高く、茎の節々からは斜上に突き出る大きな筋形の実—萌黄色の包皮の先端から紅茶色の短いヒゲが幾筋もむらがって垂れ下がる。秋の取り入れ時になつて甘薯を試験してアッと仰天。西洋南瓜ほどの大きさのものがノッソリゴロリと出てくる。校長と係の教師のご満悦は言わざもがなであった。早速綺麗に水洗いをして、小使室—使丁室—校務員室—その室内の上壁部にしつらえた神棚にその超大型の薯をお供えして神様に謝意を表した。その薯の行方についてはつい忘れてはいた。

次は服部農園の話で愈々本番ということになる。只今

はあの辺一帯は服部緑地公園とかになっているそうで、行ったことがないので何も知らないが、当時は丘陵が点存していてその間に湿地帯的田園が散在していたに過ぎず、至る所に太い松の木が生えていて一寸のどかな田舎風景でもあったが、いわば荒蕪地帯であった。そこを借用して農作業という段取りになっていた。前に述べたようにどうせ棄人のことだから作り易いものということになり勢いその種類も自ら限定されてくることは言うまでもない。その畠田で生徒達が田植えをしたが、ズボンを膝頭の上までまくり上げて、慣れない手付きで早苗を泥の中へ植え付けてゆく。姪の無闇に多い所で誰も皆吸い付かれて血を流している一部会員たちのポンポン然たる連中のその姿を見ては何だか哀れを催したのは筆者一人だけではないだろう。

敵の戦闘機が、軍事航空基地である「螢が池」空港を超低空で急襲することが幾度もあって、その帰途には見当たり次第何でも機銃掃射をしながら退去してゆく。一度その機銃掃射に逢った時、飛行機が向かってくる方向に松の木を盾としてそれにへばりつき過ぎ去ってゆくと、木にへばりつきながら半回転して身をかわす。流れ弾が何発かあたりに無気味な音を立てたので余りよい気持ちがしなかった。

「螢が池」の基地では警戒警報と共に軍用機が何機も急上昇して西の山地の方へ退避し、哨戒櫓では被覆した頂上の小窓から機銃が応戦していたそうである。警報が解除になると退避機がどこからともなく順次帰ってくる一という情勢。

愈々秋を迎えて収穫期に入ると、「畑泥棒」が出没し出す。なんせ一般人は食糧の欠乏で弱っていたので折を見つけては農村へ内密で買い出しに行き、それも必要物品と物々交換をすることが多く、又買い出し専門の商売人も暗躍して、経済警察官の眼を逃れるのが一苦労であった。テニスコートをつぶしての畠地の一部に小麦を植えて、熟した頃に穂だけ摘み採ってリュックに詰め込んでノソノソ十三駅に帰る途中運悪く「察」につかまつた時には、その弁解と説明とに八方無い知恵を働かせてやっと解放された事もあった。そう言う時期だから服部農園も自衛隊を講じて、夜は特に泊まり込みで夜警を毎夜交替で繰り返されたのである。或る夜筆者は掘立小屋で横になって休んでいると、当番の生徒10人位が外で枯木などの燃料を集めてきて、それで「とんど」を笑いて秋の夜寒を凌いでいた模様であった。夜が可なり遅くなつた頃生徒の一人が筆者を小声で呼び出しに來たので外へ出で見ると、大きな「とんど」を囲んで生徒達の顔が赤々としていて、そしてその辺から何かうまそうなもの臭いが嗅覚をくすぐる。

一人の生徒が棒先きで灰火を搔きのけて大きい黒い塊を手前へ引き寄せて「先生！どうです？」と言う。「ふん、一つ戴くか」程々にさめた頃を見計ってハンケチ様のもので取りあげて焦げ皮をはぐしながら、中から出てくるホカホカの所をかぶる。うまいものである。この薯がどういう経路を経て筆者の口に入ったか一誰でも推測

はつくが、そこはそれ上手にトボケて仲間入りをして、奴さん連中に味気ない思いをさせないような才覚が求められるので、教師稼業も一寸「芸」を必要とする。その夜の星が妙に大きく明るく仰がれた記憶が残る。

終戦少し前に東方の守口方面とおぼしきあたりの比較的低い空中で、数機の戦闘機らしいものが宙返りや反転を繰り返し乍ら呂四郎の空中戦を演じているらしい光景。そのうちにその方面から日本機が一機ヨタヨタしながらブロペラ音も張りのない弱々しさで低空を西の方に飛び過ぎて間もなく家波の向こうに真逆様に落ちて行った様。すると又日本の一機が十三の上空まで来てそこから北に曲って神崎川あたりでこれ又一気に落ちた瞬間、大きな轟音と共に黒煙がモクモクと湧き広がった。あとで聞いた話では、その辺の工場で働いていた上級生がそれを見てテッキリ敵機が撃墜されたと思ったらしいが、自爆であつてみればその残骸は敵味方の区別が出来ない程無残な姿になっているはずである。

昭和20年8月14日一昼間何十機かの爆撃機が大阪湾方面から侵入して大阪市内の真上を通過すると間もなく大阪城の東側から北方にかけて大型爆弾の地上炸裂が何回か起つて遠雷のような轟きと共に黒煙の塊が幾つも盛り昇つた。兵器廠と国鉄環状線の京橋辺とがやられたのはこの時の爆撃によつたのである。

それから何日か後に筆者が片町線側の駅に立つと、あたりには何とも言えない悪臭が漂つていて息も出来ない位であったが、それは過日の爆撃で土砂岩石コンクリートなどが大崩壊をして何人の命がその中に埋没された今まで急には何の処置も出来ないまま、暑さで死体が腐敗してその屍臭があたりに発散していたのである。勿論、その少し前に広島と長崎に原爆が投げられて周知の惨状となつた。ラジオを通じて軍部放送は「新型爆弾が用いられているから防空壕に退避せよ」であった。

8月15日正午、戦争終結の報が天皇自身の声によって発表されその中に「忍ぶべきは忍び耐えるべきは耐え……」云々の一節も含まれていてそれを聞いた時には国民は一体どんな所感を持ったであろうか。

昭和26年9月、サンフランシスコ平和条約が連合国49ヶ国参加のもとで締結され、それに日米安全保障条約も伴って独立国家に復帰するまでの数年間には、所謂「占領政策」なるものが米国を中心として施行されたのである。その終戦前の「ボツダム宣言」か何かの際に或る一国の発言で、日本が幾つかに分割されて戦勝国に配分される話も持ち出されたが、他国の反対で沙汰止みになったのは、まことに危機一髪の運命の別れ路であった。

焼夷弾や爆弾によって多数の都市が焦土となり廃墟となって、国民党は飢餓して食糧を求めて右往左往し、その間に「闇屋」が横行して長距離列車はそういう人々で鉢なりであった。

大阪駅で見た話だが、兵隊服の男が丸太棒で列車の窓ガラスを次々叩き割つてそこから闇物資を出し入れするという風景もあった。今日暴力生徒達が自校の窓ガラスを何十枚も叩き割つてゆく話の先駆みたいなものである。

さて話は元に戻って、占領政策は次々と進捗していった。①極東一東京一軍事裁判 ②憲法改正 ③農地解放 ④財閥解体 ⑤国民思想の改変 ⑥学制改革 ⑦その他。(2)以下のものも大変革であって、今日の日本の状態では、その中の一つだってまともに果たし得ないに違いないが、そこに日本国民の一つの特異性みたいなものがうかがえそうである。百家争鳴・百論喧嘩一大変なことである。話は絞って私共に關係のある学校や学制等の話。その前に終戦直後の北野中学校の話。

軍国調一点張り的な学校長一まことに見事な反転振りでその言動が今で言う民主的ー人物そのものが変質したかのようであった。しかし一面かつての反動としての学長排斥めいたものが萌し始めるような気配もあったが、その秋突如として遠方の県へ転出して行ったのである。北野関係は或る期間、まるで毒氣を抜かれたように突然としていたよう。そのあと府庁の役人が新校長として天降り、それも二年余りで昇進帰任。そのあと暫く校長なしの期間が続き、いろんな思惑があったようでこれが後々まで妙な尾を曳いた由。次は旧制高校の教授が赴任してきて十数年間勤続で北野高校も安定状態となる。

学制改革は言うまでもなく現在の6・3制と男女共学。昭和23年4月23日のことのように記憶する一大手前高等女学校との交流という形。3年生以下は住所別に強制交流。4・5年生は自由。北野へは先方から希望編入で数人の女生徒がやってくるー随分物好きもいるものだとと思つたが、北野側からも30数人の転出希望者があつて、いずれにしても血の氣の多い年頃、そんな現象があつても不思議と言ふわけではない。編入希望女性隊は、ほぼ1クラスに1人宛位の割り当てで正に「万縁盡中紅一点」そのままであったが、そこはよくしたもので馴れてみれば何のことはなく平穀無事。大手前へ自由形養子に行つた連中も同様だったのであろう。一度何かの用向きで先方の職員室にいたら、どう伝え聞いたのか數人がやって来て大分まくし立てられた記憶がある。女性ホルモンの妖氣の濃う中で呼吸していると、おとなしかった連中も活力を得て淫慾とした人間像に新生するのかー環境の影響が改めて痛感された。

それから或る時期に自殺生徒が何人か続出して、新聞記者連が出勤のように職員室に詰めかけて来てネタ搜しに熱心であった。その件で朝日新聞の記者が宿へやって來たので風邪で引きこもっていた筆者と話をして、「偶然と必然」とについて一寸した議論をしたようであったが、その人は穏かで紳士的だったので非常に好感が持てた。自殺の原因には「哲學的な思考」という報道もあって、先輩で有名大学の寮にいた者が他校出身の寮生から冗談半分に「哲學をやつたらなぜ自殺することになるのかナアー」と言われたと笑っていた。自殺を防ぐ方法として「運動の奨励がよい」という話が役所の方であつたらしいが、私共にはそんな簡明な良策はなかった。

戦後間もなく運動会が復活して若い連中の自由な息抜き行事が始まると、トラックの東辺には学年毎の席が設けられ、その前に長い竹竿が立てられて、それにいろん

なものが取り付けられる。蓬一枚程の「蠅叩き」や又柄にもないお上品な「万葉歌人」など。「蠅叩き」のライバルに当たるウサギ型の教師がいたのである。クラス中心で趣向をこらして案出された催し物でトラックを順次練り歩くので、組担任がその中の道化役として、服飾など面白おかしく入念に仕立てられて、お伴を仰せつかるのである。これや先述の竹竿掲揚には、微妙な心理の演出が背景となっていることは言うまでもない。

教師漫描

昭和30年すくに所謂勤評事件なるものが全国的に波及して、どことも激しい悶着が起きたが、組合の学校代表の一人が後に学校長になって今度は逆に組合から取っちらめられるという皮肉なことになった場合もあったそうである。「今日は我が身明日は誰が身」の浮き世の習わし。當時一卒業前の各組では組担任に記念品を贈る習わしがあったので、一教師が授業に遅つていった時に組毎にその世話役や一般生徒達に対して「各組毎に余り不均衡にならぬようよく連絡し合つはどうか」と一寸教師側の心遣いについて話をした。それが一猛者教師に伝わって、その教師は校長室に押しかけ「○○教師は生徒に金品を強要した」と難詰し、何かの報道紙にも載せたそうである。又遠足からの帰りに一生徒をコボシ落としたので、他級の教師がそのコボレを一緒に連れて帰つたことがあって、そのコボレ拾い教師が他の教師にそのことを伝達するとその教師も亦校長室に投げ込んで「あの組担任は担任の資格がない」と息巻いたそうである。

筆者は定年前に退職して北野に対しては大分水臭いことになったように思う。足元の明るいうちに去ったというわけでもない。それに反して北野を愛し北野健児の育成に尽力されて、しかも70才近くまで勤続され、その後続の人々も又何人か出られることと思うが、ご存じの卒業生諸君の中には敬意と感謝の気持ちを抱いておられる人々もあるだろう。

ここまで書き続けて改めて思うことは「すべての過去は美しい」ではなく、随分灰色のくすんだ事象もあったので、筆者は吟遊詩人の詩情に乏しい凡俗に過ぎないことをつくづく感ずる。書き綴った雑誌は曼荼羅世界ではなくして「斑世談」の集積であった。しかし現代の世相一修学旅行中の女子中学生が酒を飲んで旅宿のベランダから転落して死亡ー等澁んだ世纪末を思わせるようなご時勢、何が起こっても平然とした胆力を必要とするようである。

この文章を書き終わるにあたって北野高校のご健在と生徒諸君のご向上と更に同窓会先輩各位のご清栄とをお祈り申し上げて締筆する。

かわいよしみち先生略歴

大阪市天神橋筋のお生れ。子供の頃教師に憧れ、奈良師範学校卒業。小学校に勤務。その間「文株」—文部省施行の旧制高等女学校・同中学校・師範学校教員の資格試験に合格。その後縁あって北野中学校に転出。北野師範後は高専等に転じられ、今は老人大学・生涯教育等からの依頼で長期講義続行中。

鶏想

題字 阿部俊一先生

私の鶏口牛後

山崎照久(78期 中華料理店「青府」経営)

生来流行に敏感で、お調子者の私は、2年半程前、流行の脱サラムードに遅れてはならぬと、突然思い立ち、鳥が飛び立つみたいにバタバタと北新地で中国スタイルのシーフーズ・レストランを開業した。当時、多少のグルメだと自負はあったものの、大学卒業以来、石油化学系の会社の営業マンで、家庭で料理をする事など日本男子のする事にあらずと思っていた身にとっては、随分無茶な事をしたものだと思う。中学生の頃、キャンプで飯盒炊きんをしてカレーライスなどを作ったことはあるが、その後は絶えてすることの無かった調理なるものを始めてみて、そのおもしろさがわかるようになって来たのはようやく最近のことである。

商売柄、肉の料理もする。牛肉・豚肉・鶏肉、もちろんそれぞれに肉の持味があるが、料理していて、素材としてもっとも深みがあり興味を引かれるのは、やはり牛肉である。反面、料理人として一番難しいのも牛肉料理のような気がする。中国人は元来、豚肉と鶏肉は大いに食するが、牛肉はほとんど食さない。中国で肉といえばそれは豚肉の事である。この点、肉といえば、牛肉を意味する日本人とはかなり嗜好の違いが感じられる。

高校の漢文の時間、“鶏口となるも牛後となるなれ”という諺について、習ったことがある。中国の諺は、私達の人生の中で、数多く使われ、また生かされてもいるが、この鶏口牛後などはまさにその代表的な文言の一つであろう。政治やスポーツ等の世界からはじめ、私達の日常のちょっとした事柄についてさえも、鶏口となるか牛後となるかの選択を迫られる事が実にしばしばある。そんな際、いつもいつも“鶏口となるも牛後となるなれ”というわけにはいかないし、その逆の選択をするケースだって、結構多いのだ。

現代の受験は、戦争であり地獄であるそうだ。戦後の未曾有のベビーブームの真っ只中にあった私達の時代と

較べても、その厳しさ激しさには、格段のものがあるという。かかる時も時、世の教育評論家諸氏が、鶏口牛後の諺を引用して、もっともらしい所説を述べているのによく出くわす。もちろん私達の時代であっても、みんながこの選択をしたうえで、それぞれの道を進んだのだ。かく申す私も、人生でもっとも感受性の強い時期、つまり、人間の人格形成や未来への展望にもっとも強い影響を与えるといわれる高校生活の3年間を、北野高校で過した。最初から牛後になるつもりは無かったが、ともかくはじめは牛を選んだのである。さて自分がその牛の一部となってみて、すぐに痛感したことは、こいつ牛は牛でも、とてつもない牛だという事であった。中国の諺を用いるなら、牛というよりは麒麟の如し、まあ云ってみれば天驅ける牛というようなものである。先輩達の残した、長い伝統や自由な校風。さらに優秀な教師にさせられたこの牛は、卓越した頭脳、千里を見通す眼、虎の如く何でも噛み碎くする深い歯、飛ぶ鳥よりも速く駆ける4本の足をもつ。また、肉として食したとしたならば、全身これ松阪牛も頗負けの霜降りといったところであろう。その尾っぽだって、見ようによっては気高くなれがった風情にすら見える。

しかしながら私自身は、哀しいかなこんな牛の尾っぽである事が多かった。いやもつとはっきり云うなら、牛後牛尾以外の何物でもなかったような気がする。しかしそれでも、牛であるという自覚と誇りに満ちた高校生活であったことは事実なので、昨今よくいわれる“落ちこぼれ”などといったような暗い意識なんかはまったく無かった。いや、そういうところこそが伝統とか校風とかいうものの魔力なのだろうか。

私達の牛は、ある時は猛烈な勢いで駆け、猛々しく燃焼し、またある時は泰然として動かず、さらに、ある時はその鋭い感性のため激しく打ち震える。そんな時、こんな時、牛はそれを全身で表現する。たとえ尾っぽだって、役に立っているのだ。もし尾っぽが無ければどうだろう。牛はバランスを失って、駆ける事すらできないのではないか。

牛尾すらにも生き甲斐を感じさせてくれる偉大な牛、北野万歳!! 人生のどこかでもう一度、またあんな牛にめぐり逢いたいもの、と私は念じている。

試薬

石津製薬株式会社

取締役社長(薬学博士) 石津 一 貢 (昭和13年卒)

専務取締役 石津 純 正 (昭和17年卒)

本社	大阪市東区道休町2丁目26	電話(06)231-5003代表
工場	大阪市鶴見区鶴見4丁目17番の86号	電話(06)911-3789
東京営業所	東京都千代田区岩本町1丁目6番7号	電話(03)866-5715
九州営業所	福岡市東区宮松4丁目8番7号	電話(092)611-1561代表

北野高校生活の想い出

勝部番里 (94期 奈良女子大2年生)

「北野高校生活の想い出」という原稿の依頼を受け、あれこれと高校時代を思い返してみたのですが、だいたい勉強が嫌いな上頭もよくない生徒でしたので、お偉い諸先輩方が思い出されるものとは随分違った生活を送っていたと思います。頭に浮かんでくるのは、文化祭、体育祭、コンバ、断交競争などというようなものばかりで、誠に恥かしい話ですが、勉強のことは各名物先生の授業一これは実にユニークでしたので、とても印象的なものでしたがあくまで印象的なものでした。これが一度の事しか覚えていません。そんな私ですので、大抵の事では他の北野生より秀でているとか自慢できるとかいうことはありません。が、一つだけ、クラブ活動に関しては少しくらい自慢できるのではないかと思います。

私は高校へ入ってすぐにバスケット部に入部しました。北野バスケット部は大変厳しいクラブです。日曜練習はありますし、さすが歴史の古い学校でOB・OG会がしっかりしており、コーチ・アシスタントコーチまでやつていただくというシビアさ……。私が甘かったのか、私が考へていた北野高校のクラブとは全然違うものでした。クラブに入ってからは、家に帰ったらバタンキュー。予習、復習の暇などなく、試験前にはコピーの山々……。夏休みも冬休みもない。そんな生活が2年以上も続いたなんて恐ろしい話です。

しかし、バスケットボールにはそれだけの価値がありました。練習は厳しく、特に1年生の間はついていくのに精一杯でした。激しい練習は、もちろんできれば避けたいという気持ちでしたが、それを成し終えた後の充実感は最高です。まるでサウナのような夏の体育館、ボールの音と皆の声、気が遠くなるなかでシャワーと冷たい水が頭をかすめ——もうダメーと感じながら、それでも走っている。ほんとうに人間は強いもので、そう簡単には倒れることがないものです。初めての夏合宿、初めての公式戦、一つ一つこなすごとに自分の体ができていくを感じましたし、自信がつきました。

ところが、努力と結果は時として伴わないものです。入部当初、人より上背があったため少し上回っていたものが、夏過ぎあたりから不調になり、まわりの同級生にどんどん追い抜かれていきました。同じことを何度も言われ、努力しているのに伸びない。日に日に実力をつけていくクラブメイトをみながら焦りだけが出てくる。試合の前日は眠れない。試合に対する緊張感からではなく試合中にはああしよう、こういう所に気をつけようと、そればかり……。しかし、結果は惨く、自分の欠点ばかりさらけだすような始末。ちょうどその頃に体を壊し、練習はできない、断交競争では不本意な成績に終わる……。今から考えれば、その時期が私にとって一番辛かったように思います。

それだけ厳しい練習をこなし、バスケットを続けたの

は、ただバスケットが好きで、そして当然、試合に勝ちたかったからなのですが、私の場合、ある意味での意地がありました。正直言って、どんなに練習して頑張っても、インターハイや国体へ行くのは無理です。有名私立校のセミプロみたいな人を相手に勝つことは不可能に近い——とつくづく感じていましたので……。そういう選ばれた人々に一步でも近づきたい、雑草みたいな私たちでもこれくらい出来るんだということをみてやりたいと思っていました。それと同時に、他の雑草には絶対負けたくないと思っていました。私は「やっぱり北野やなあ。」と言われるのが何よりも嫌でしたし、常にそういう目を感じていたので、人一倍ライバル意識を抱いていたからかもしれません。

私は試合が好きでした。ことに試合前のあの緊張感が何よりも好きです。朝、顔を合わせた時も、着がえている時も、いつも変わらないメンバーの顔の中に、少し違った部分を感じます。試合前のアップーだんだん体ができていく。3分前の笛、コーチの顔、メンバーの顔、後輩の声、試合開始の合図—and, Good Luck. ジャンプボールで試合が始まる……。この過程もあの緊張感も、もう生涯味わうことがないと思うと、ほんとうに淋しいです。

時が立つの早いもので、気がついたら最後の公式戦になっていました。くじ運良く、ベスト16までは苦戦しながらもなんとかいけました。3年間続けてきたことが無駄にならずにすんだことを、ほんとうに嬉しく思っています。ただ……有名私立校との最後の試合に、前の試合で怪我をしたエースである部長を欠き、予想以上の敗戦に終わったことが心残りでなりません。

試合後に、多くの先生方に声をかけていただきました。ねぎらいの言葉や、中には情けないという叱咤の言葉もありました。その時、私ははみ出していましたが、私もやはり北野生の一員であったことを、私なりに認めてもらえたように感じました。

私の高校生活は、クラブで始まり、クラブで終わったようなもので、他には何もありません。私のような後輩がいるというのを大先輩方に知っていただくのもいいのではないでしょうか。

ニッピョウ

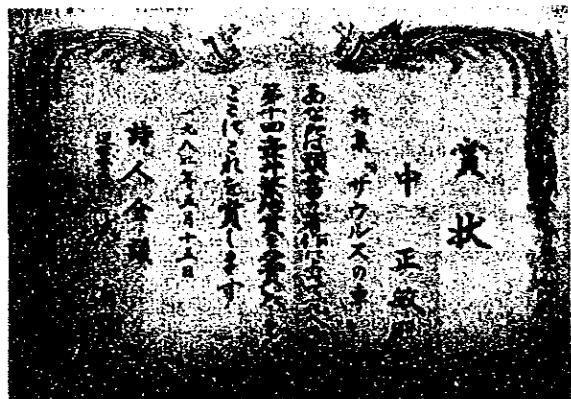
業務用食品・洋酒・純氷

日本氷業有限会社 (61回古川)

六稜同窓会だより

故 安場君の靈前に六稜校歌齊唱

41回 中 正敏氏 壱井繁治賞 受賞



校門を出て56年、昭二悪さ便り

我等いま校門を出て56年、まさに母校創立110周年の半分を背負って來たことになります。

さてその間、悪さではなく無邪氣でつい口に出た、いまは亡き旧師の顔や声やアダ名が、次ぎ次ぎと浮んで来ます。いま覚えているだけでも、

アカハナ(梶山校長) カニ(江崎校長) 仰天(原子・修身国漢) ギャウコウ(中村・園画) タイピー(片山・数学) ヘイ(天野・教練) トンボ(稻津・英語) クマ(木村・数学) ゴルデンバット(ジョン・ケル・ゴルデー・英会話) オーヤン(森田・武道) ヘビ(中西・体育) チリヤン(山本・地歴) デコ(猪・教練) ネコ(平田・国漢・二代) カッパ(宇津木・英語) エンゲン(寺島・地歴) バル(友田・数学) インド(木村・英語) カレススキ(鈴木・国語) 天マド(伊藤・書道) カバ(山田・英語) タル(鍾田・国語) チンシュー(佐野・国漢) シシ(安藤・英語) ヒロスケ(広田・国漢) ニイチャン(石井・保田・化学) 一老将健在です……以上、失礼なれば平にお詫し下さい。

さてさて我等のヤンチャ仲間も戦場に逝き、病気に倒れ一人欠け、二人欠けてゆくのが、淋しくも悲しいことであります。今年になってわれ等のホープ谷口英香(吉原製油) 安場忠雄(三和銀行-東洋ゴム-父君大倉商業校長から三代ほか一族北野出身) の両君が亡くなつたことが惜しまれました。二人への餞別は……いづれも同窓参列者30数名を率いて名物、岡田バカリキ君が、六稜のシンボル陣羽織、一本線の学帽姿で蕭然、香煙漂う靈前での力強い“六稜の星のしるしを青春の顔にかざし……”の校歌齊唱は想無量で涙をこらえました。

(安達ミチ記)

六稜昭三会だより

北野の校門を出てより本年は満55周年を迎え誠に慶賀すべき年でもあるが、年令を申すなれば古稀を迎へ、吾ら六稜昭三会員は70才を上廻る者ばかりである。記念行事として春季には家族同伴琵琶湖竹生島巡りを楽しみ、又秋季には物故会員の追悼法要を(11月上旬)行うこととし、併せて年内には記念文集を出刊する。然し乍ら会員中、春或は秋に叙勲並びに褒章の栄を受けた者もあれば、病歿された者もあり、悲喜交々である。因に叙勲受章者は下記の通りです。

中西 実(勳一等瑞宝章)
西川伊之助(勳二等瑞宝章)
間島大治郎(勳三等旭日中綬章)
野木 一雄(勳三等瑞宝章)
曲直部正夫(勳四等旭日小綬章)
廣瀬 三夫(勳四等瑞宝章)
垣本 光男(勳四等瑞宝章)
川田 正夫(勳五等瑞宝章) (敬称略)

六稜昭三会一琵琶湖周遊・浜大津にて



六稜四五会 東京例会

六稜四五会 東京例会

57年度の六稜四五会東京例会は、11月25日(木)日本鋼管高輪クラブにおいて、遠路大阪より水鳥喜平先生のご出席を仰ぎ、在京同窓16名が集り、盛大に行われました。

森繁久弥君も、「吉田 茂」撮影中の多忙の寸暇を割いて出席してくれ、今までトレード・マークとして親しまれてきた見事な髪を、この撮影のため剃り落し、若々しく生れ変わったニュー・フェースで、得意の漫談等披露願い宴会のムードを大いに盛り上げて與れました。

来年の例会も、皆々元気な顔で再会することを約し、散会しました。

当日の出席者は下記の通り(敬称略)

水鳥 喜平、瀧波 清一、松葉登起男、遠藤 治雄、
中島 尚久、松山 謙三、兼田 晴重、南部 博、
森繁 久弥、蒲生 達一、野田 隆一、山本 将、
木村 正信、廣瀬豊三郎、峰 広長、俵 達博、
本多文利郎

(野田隆一、峰 広長 記)

日本鋼管高輪クラブに於て



六稜四五会 報告

昭和58年6月28日午後3時～8時、淡路島を望む風光明媚の地神戸市垂水区舞子ビラにて昭和58年度の総会の同窓会を催した。当日の出席者は拿寿を迎えた水鳥先生を迎えて22名であった。

午後3時から午後5時半までは久し振りの出席者も交えて話に花が咲いた。午後5時半、パーティに先立ち最近物故された藤田彦彦、徳永博太郎、杉沢英男、松浦義人、福島勲正の五氏の御逝去をいたみ1分間の黙祷をした後、常任幹事富田成久君より水鳥先生の拿寿のお祝品の目録が贈呈され先生のご挨拶のあった後、賑やかな宴会となり明石鰯の活造りの料理に舌鼓を打ちながらあちこちに歓談の花が咲き時の過ぎるのも忘れる程になり、午後8時、幹事古江正市君のリードで懐しい北野中学校の校歌を合唱して後散会した。

尚、次回幹事は森山康夫、磯尾汀一の両君に決定した。出席者、水鳥先生他22名。

(幹事 山崎記)

珈琲は黒い魔女

福田珈琲株式会社

大阪本社 大阪市西区新町1丁目29番17号

電話 (06) 541-5231番代

東京本社 東京都練馬区羽沢3-38-3

電話 (03) 991-1011番

代表取締役 福田規雄 (60期)

卒業48年目を迎えた東京六稜四八会

毎年4月8日に恒例として開催されている東京六稜四八会は、今年卒業48年を迎えたため関西からも木村、小浜、平、二階堂諸氏が参加、恩師大谷源志郎先生を囲み東京六本木のスクエアビル10階（世話役中村典美、白井一郎君）で盛大に開かれました。出席者は寄書の諸氏であります。が当日は三日前に急死しました朝日新聞東京本社代表後藤基夫君の追悼会を兼ねた一時でもあります。

（記録 平 浩行）



四九会だより

伊藤 素子の素顔に耳を傾ける

本会の四九会は、4月16日土曜日午后、天満橋キャッスルホテルの金城閣にて、本会当番の元大阪市助役・現大阪地下街KK社長石川多賀夫氏のお世話を開かれた。

土屋・植村両先生ご出席、約35名参加。

われわれの期はそのほとんどが一線から引退している中で、これから重要なポストに就任して活躍を期待される者あり、三菱レイヨンKK取締役社長就任の河崎晃夫氏に拍手を送る。

宴半ば、三和銀行の伊藤素子の弁護を担当した弁護士丸尾芳郎氏の週刊紙に書かれなかった彼女の素顔についての心暖まる報告に、短時間ではあったが、全員静かに耳を傾ける。相手の男性の優しさと、女性の弱さに考えさせられる。

この日は造幣局の通り抜けの最終日。閉会後、久し振りに通り抜けに三々五々出かけた。（文責 中村 弘）



第1回 91期六稜同窓会報告

去る昭和57年12月27日、梅田東通り商店街内「四川飯店」にて、91期（昭和54年卒）六稜会を開きました。

開会の午後6時には、男子87名、女子98名、計185名が集まり、会場は再会を懐しむ声で埋まりました。年末の慌しいときにも拘らず、佐賀、平石、金森、中村、菊川、船木、水落、田村、西川、松田、阪田各先生方にもお越し頂き、同窓生一同感激の念で一杯でした。

佐賀先生の音頭で乾杯した後、立食パーティーとなり中華料理を食べながら先生方を囲み昔話に花を咲かせました。

1時間半ほどして、ひとしきり話が済んだところで、福引会へと移りました。当日は御都合でお越し頂けなかった先生方のものも含め20枚の色紙を抽選でプレゼントし、当選者に大変好評を博しました。引き続き就職決定者を発表し全員の拍手で彼らを祝福しました。出席者中今春社会に出る者は男子13名、女子50名と男子がやや少ない状況ですが、これは工学部の人が多数大学院に進学するためと思われます。就職決定者を代表し尾池厚之君（東大法学院→外務省）より挨拶があり、彼の音頭で、同窓生一同改めて先生方に御礼を申し上げ深々と頭を下げました。

その後、各先生方から御挨拶を頂きました。久しぶりに先生方の御声を聴かせて頂き出席者全員、教室での授業が思い起こされ、暫し懐しい気持ちで胸が一杯となりました。先生方の御挨拶の後、西川先生の素晴らしいシャンソンを聴かせて頂き最後に同先生の御好意によって御用意頂いた歌詞カードを配り、同先生の御指揮のもと全員で校歌を齊唱し、2時間半に及ぶ会は成功裏に終わりました。会場を出てからも二次会の相談をする同窓生で東通りは溢れています。

報告の最後をお借りして同期生に伝えます。今春以降就職等で東京周辺に住むことになる人は必ず下記まで連絡して下さい。6月に東京六稜総会があるばかりでなく、91期生だけでも毎年12月の第1週に、渋谷で同期会を開いています。大阪で会うのとはまたひと味違った趣があるかと思います。連絡を待っています。

〒167 杉並区松庵3-39-15 西荻窓内 03-333-5829(呼)

(91期 理事 造力)

宮本貞幹の逸話

宮本貞夫 (48回生・貞幹の孫)

明治の初期に、政府が各藩より米国への留学生を募り、高槻藩より宮本貞幹が一人選ばれて、徒步で江戸へ向ったが（当時は汽車がなかった）、残念にも船の出航に遅れ、米国留学が不可能となり、江戸を去った。しかし奮起した貞幹は故郷の高槻藩へ帰らずに、外人の多い神戸へ行き、外人宅に住み英語を学んだ。僅かに三年間の必死の努力で英会話に長じた。

初め神戸地方裁判所に勤め、二年後に大阪府知事の特別の懇意により、大阪控訴院（大阪高等裁判所）、大阪地方裁判所に晩年まで長く勤務し、主に外人の裁判に関係した。5才（大正10年）の頃の記憶では薄い半紙に細い筆と墨で貞幹が書いた英文の裁判記録が1万枚以上も自宅に保存されていた。転宅を10回近くくり返したので今は一枚も残っていない。神戸の外人の先生から別れの記念にと貞幹がもらった金時計も今はない。Webster's International Dictionary と皮表紙に題のついた全部英語で書かれた大きい（厚さ13cm、縦31cm、横22cm）大辞典を貞幹がその外人からもらったが、それだけは今も家に残っている。しかしその外人の名前を知らない。後日乞われて視学官にもなった。

当時は大阪に中学校がなく（全国にも中学校がなかつた）北野高校の前身の欧学校（一ヶ月後に集成学校と改称す）が明治6年（1873年）4月に東本願寺に開設され、同年同月に宮本貞幹が初代校長となった。満29才になつた時である。当時は日本語の教科書が全くなくて、英語、数学、理科、歴史等すべて英語で書かれた教科書を外人教師が教えるので、外人教師を募めるには、貞幹は適任であった。多くの外人と友人に持ち英会話に長じていたからである。

北野百年史の30頁の記事に貞幹が長崎で5年間英語を勉強して英会話に長じたとあるのは、私の親類が誤った事を私に伝えたのが原因で、おわびして本文の通りに訂正する。

六稜文庫

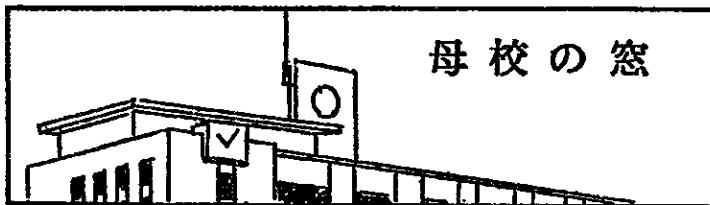
中 正敏	精選 日本現代詩全集	1	159
中 正敏	X社への手紙	1	160
田 中 隆雄	管理会計発達史	1	161
昭 五 会	六稜昭五会会報 第八号	1	162
水泳部OB会	稜水 第6号	3	163

(注) 氏名は寄贈者です。なお他にも卒業生より図書館あてに寄贈された本がありましたが、「六稜文庫」宛になっているもののみ掲載しております。

大学合格者一覧表

(58. 4. 22 現在)

國立	男	女	計	京都府立大	1	1	岐阜 大	1	1	神戸学院大	1	3	4	東洋学校	男	女	計				
筑 波 大	1	1	2	京都府立医科大	5	5	大谷 大	1	1	神戸女子院大	18	18	日本コシヒカリ		1	1					
東 京 大	16	1	17	大阪女子大	1	1	京都 外 大	1	1	神戸女子大	4	4	大阪帝大		1	1					
東京工大				大阪市立大	12	8	京都産業大	1	1	神戸女子薬大	27	27	合 計	2	2						
一 橋 大	2		2	大阪府立大	11	5	京都女子大	15	16	松蔭女子院大	2	2	就職	男	女	計					
横浜国大	2		2	神戸市外大	1	1	京都薬大	1	13	14	聖和女子大	1	1	住友銀行	1	1					
信 州 大	2		2	神戸商科大	3	2	同志社大	56	17	73	兵庫医科大	2	2	大阪ガス	1	1					
金 沢 大	1		1	奈良県立医科大	1		同志社女子大	9	9	武庫川女大	16	16	合 計	2	2						
滋 賀 大	1	1	2	獨協由紀医科大	1	1	立命館大	17	13	帝塲山大	1	1	56年(昨年)	男	女	計					
京 都 大	57	11	68	合 計	37	19	龍谷 大	3	5	8	合 計	24	37	53	国	立	17	92	110		
京都教育大	1	1	2	弘 史 男 女 計			姫 大	2	2	公	立	36	27	63							
大 阪 大	34	21	55	青山学院大	2	2	大阪医大	8	5	13	東京女子短大	1	1	私	立	23	23	46			
大阪教育大	3	20	23	座 聖 院 大	1		大阪音楽大	1	1	東京家政短大	1	1	短大	41	41						
大阪外大	2	5	7	庭 庭 義塾大	28	5	大阪工業大	1	1	京都女子短大	20	20	準大	2							
神 戸 大	27	12	39	國際基督教大	1		大阪経大	1	1	金 錦 短 大	6	6	就職	7	7						
神戸商船大	1		1	上 腹 大	1	3	大阪神戸女大	4	4	松蔭女子短大	2	2	合 計	65	61	126					
奈 鮎 女子大	6	6	12	白百合女子大	1	1	大阪薬科大	1	8	9	武庫川短大	6	6	57年(昨年)	男	女	計				
和 歌 山 大	1		1	成 城 大	1	1	大谷女子大	2	2	常盤会短大	1	1	国	立	155	75	230				
西 山 大	2		2	中央 大	5	1	進歩門学院大	2	2	東大阪短大	1	1	公	立	19	20	39				
広 島 大	1	2	3	津 田 敦 大	4	4	開 地 大	8	27	35	興 興 短 大	2	2	私	立	19	22	42			
鳥 取 大	1		1	東京女子大	2	2	鶴 西 医 大	1	2	キリスト教短大	1	1	短大	1	42	43					
香 川 大	2		2	東京理科大	3	2	関 西 外 大	3	3	松阪女子短大	1	1	準大	3	3	3					
徳 島 大	1	2	3	東 洋 大	1		近 畿 大	3	1	聖 和 短 大	1	1	就職	4	4						
高 知 医 科 大	1		1	日本女子大	1		相 賀 大	1	1	大阪学院短大	1	1	合 計	30	33	63					
九 州 大	2	1	3	法 政 大	1		帝 雄 山 学院大	1	1	大阪女子院短大	1	1	58年(本年)	男	女	計					
熊 本 大	1		1	明 治 大	1		鶴 花 女子大	1	1	鶴西外語短大	1	1	国	文	85	26					
福岡教育大	1		1	明 治 学院大	1		英 知 大	1	1	大阪府立看護大	3	3	公	立	37	19	56				
合 計	85	26	71	エリス女子院大	1	1	大手前女子大	1	1	合 計	49	49	私	立	21	37	58				
公 立	男	女	計	立 教 大	1	1	関 西 学院大	31	46	77	準 大	男	女	計	大	4	49	49			
東京都立大	2		2	立 正 大	1	1	甲 南 大	3	21	24	防衛大	1	1	準大	4	4	4				
岐阜医大	1		1	早 輪 田 大	38	5	甲 南 女子大	2	2	防衛医大	3	3	就職	2	2	2					
名古屋市立大	1		1	神 奈 川 大	1	1	神戸高麗女大	2	2	合 計	4	4	合 計	86	67	153					



母校の窓

職員異動

泉 悅二 (S35~S58) 英語・教頭
校長

稻葉憲一郎 (S25~S58) 保健体育

藤尾 直正 (S33~S58) 国語

阿部 八重 (S39~S58) 家庭

田中 秀和 (S39~S58) 保健体育

大森 実 (S58~S58) 社会

今西常治郎 (S50~S58) 主事

以上 7 名の先生方が昭和58年 3月31

日付をもって本校を去られました。

泉先生・稻葉先生は金蘭短期大学に移られ、藤尾・阿部・田中・大森の各先生は、それぞれ吹田高校・高槻

南高校・長野高校・箕面高校に転勤になられ、今西主事は本府の方にかわられました。今後共のご活躍をお祈り申し上げます。

又、4月1日付をもって次の新しい先生方をお迎えしております。

村田 義人 (堺東高校) 校長

堀部 正之 (島上高校) 数学

下沖 修己 (桜塚高校) 保健体育

丸山 明 (新任) 保健体育

高橋 真子 (吹田高校) 家庭

植田 好男 (高津高校(定)) 主事

中野 淳 講師 社会

永田ひろみ 講師 数学

平田 友亮 講師 社会

中村 弘 講師 美術

黒岩 悅子 講師 家庭

宇山 弘子 講師 国語

相馬 裕美 講師 国語

御不幸

保田(石井)茂二郎先生・植村文時先生がこの7月・8月にひきつづきお亡くなりになりました。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

ご寄付をいただきました

65回 (S28卒) より卒業30年記念として、110周年記念万葉植物園(学内)に20万円相当の樹木を植樹。

クラブだより

58. 8. 1 現在

【ラグビー】

公式戦 第62回全国大会府予選2回戦25-10対桃山学院勝、3回戦22-4対夕陽丘勝、4回戦30-6対大鉄勝、準決勝9-16対島本負。第34回近畿大会府予選1回戦8-30対興國負。春季大会予選2回戦28-6対商大付属勝、3回戦6-10対淀工負。定期戦 23-10対洛北勝、4-17対天王寺負。

【陸 上】

公式戦 大阪高校総体2年生の部800m 5位 2'02"2 大谷強、110m JH 6位 15"8 堀本貴則、1年生の部800m 4位 2'05"0 上田剛弘、1500m 4位 4'19"2 上田剛弘、1500m S.C. 優勝 4'39"0 坂口誠、400m 5位 65"3 山根史理子、1500m 6位 5'18"4 遠藤美香、走高跳 2位 1m55森田由理子。近畿ジュニア大会1年生の部1500m S.C. 6位 4'48"3 坂口誠、走高跳 6位 1m50森田由理子。大阪高校駅伝兼全国予選6位 2'25'52"0(大谷、野村、上田、坂口、植木、三木、野村)。大阪高校選手権大会1600m R6位 3'24"7(社頭、井実、坂口、上田)走高跳 6位 1m58森田由理子。近畿高校選手権大会1600m R予選3位 3'23"5(社頭、井実、坂口、上田)、準決勝 6位 3'24"9。

【体 操】

公式戦 大阪高校総合体育大会男子団体総合3位、個人総合3位。1.2年生大会男子個人総合1位・5位、男子種目別床2位・鞍馬2位・吊環2位・平行棒1位・3位・鉄棒2位。大阪高校春期体育大会男子団体総合2位、男子個人総合3位。

【サッカー】

公式戦 第61回全国高校府予選3-4対関大一負。S58冬季大会4-0対大阪学院勝、2-3対茨木東負。S58高校総体府予選4-0対鳥飼勝、0-0(PK 2-4)対高槻負。

定期戦 1-4対膳所負、1-1対天王寺引き分け。

【男子バスケットボール】

公式戦 第37回大阪高校総合体育大会1回戦不戦勝、2回戦52-42対三島、3回戦51-52対高槻北負。第3回大阪府立高校大会(予選リーグ)

1回戦75-64対高槻北勝、2回戦82-42対刀根山勝、3回戦2-0対春日丘勝。北摂大会(決勝トーナメント)準決勝61-53対鳥飼勝、決勝54-89対茨木負。第30回大阪高校バスケットボール新人大会1回戦66-54対池田勝、2回戦73-58対茨木負。

第35回全国高校バスケットボール選手権大会大阪府予選1回戦76-52対桃山勝、2回戦66-37対高槻北勝、3回戦85-37対交野勝、4回戦54-57対桃山学院負。

定期戦 夏の定期戦52-64対神戸負、56-52対東大津勝。滋賀県遠征試合52-62対東大阪負、54-48対東大津勝、60-53対八幡勝。四校定期戦74-54対灘勝、76-51対神戸勝。

【女子バスケットボール】

3/26練習試合(遠征)56-31対八幡勝、4/2練習試合40-32対東淀川勝、4/4練習試合44-58対北千里負、4/17練習試合57-60対池田負、4/24練習試合54-47対芦屋勝。

インターハイ予選94-24対東勝、85-23対箕面自由勝、62-44対泉陽勝、39-31対羽衣勝、39-36対鶴町商勝(ベスト8)、39-52対泉北負。6/4練習試合64-82対東豊中負。

【山 岳】

公式戦 第27回全国高校登山大会大阪府予選第5位。

連絡

昭和58年度夏山合宿一横尾 B.C.(蝶・常念・柏・奥徳)

母校のページ母校のページ母校のページ母校のページ母校のページ母校のページ母校のページ母校のページ母校のページ

【ソフトボール】

公式戦 第34回全日本高校女子選手権大会 1回戦 8-0 対柏原東負。第11回大阪高校部別大会 1回戦 8-9 対柴島勝、2回戦 5-7 対西商勝、3回戦 2-3 対市岡勝、4回戦 5-4 対三島負。

【バトミントン】

公式戦 第30回大阪高校バドミントン選手権大会(団体の部)地区予選 男子優勝、準決勝 2-1 対桜塚、決勝 2-1 対豊島。

練習試合 (女子) 13-5 対豊中勝。
連絡

今年(58年度)は残念なことに現役男子部員がいませんが、日頃の活動が認められ、今年から校内での合宿が許可されました。

【卓 球】

公式戦 全国高校府地区大会男子 1回戦 3-0 対東勝、2回戦 4-1 対泉尾勝、女子 1回戦 3-2 対市岡商勝、2回戦 3-2 対大手前勝。府中央大会男子 1回戦 3-0 対関大一勝、2回戦 0-3 対布施負、女子 1回戦 3-2 対池島勝、2回戦 1-3 対八尾負。個人戦府中央大会に進出したものシングルス(女子) 口村、ダブルス(男子) 大槻・沢井組。

定期戦 対天王寺 8-7勝、対市岡(春季) 7-8 負。

連絡

第11回六棱(卓球)杯(S57/11月)
優勝(男子)井手毅(48卒)、(女子)口村典子(2年)。第12回六棱(卓球)杯(S58/5月)優勝(男子)柳原直人(54卒)、(女子)前野友紀(3年)。
年2回春・秋、O.B.・現役を含めての大会です。ご参加をお待ちします。

【庭 球】

公式戦 大阪府大会現3年荒西政和本選進出、坪井実紀本選優勝。近畿大会現3年坪井実紀3位、坪井実紀・藤枝美代ペアベスト8。大阪府大会現2年今西順司予選決勝進出、今西順司・梅沢靖匡ペア予選準決勝進出、木村倫子予選決勝進出。

定期戦 対市岡11勝12敗負、対天王寺3勝2敗勝。

【バレーボール】

公式戦 (男子) 大阪総体予選第一次予選 2-0 対渋谷勝、2-0 対春日丘勝、2-0 対大教大附池田勝、第二次予選 0-2 対関大負。府立高校大会地区大会 2-0 対高槻北勝、2-1 対東豊中勝、2-1 対東淀川勝。中央大会 2-1 対茨田勝、2-0 対布施勝、0-2 対寝屋川負(ペスト8)。新人大会 2-0 対大成勝、1-2 対此花学院負、2-0 対阿倍野勝(結果2位)。春の高校バレー府予選 2-0 対門真勝、対大教大附天王寺不戦勝、0-2 対藤井寺工負。春季部別大会 0-2 対南寝屋川負、1-2 対箕面東負、2-1 対北千里勝(結果3位)。インターハイ予選 2-0 対登美丘勝、1-2 対桜宮負。(女子) 大阪総体予選第一次予選 2-0 対被昇天勝、2-0 対茨木西勝、2-0 対刀根山勝、第二次予選 0-2 対渋谷負。府立高校大会地区大会 2-0 対豊島勝、2-0 対吹田勝、中央大会 2-1 対泉北勝、1-2 対河南負。新人大会 0-2 対堺西負、1-2 対三島負、2-0 対守口勝(結果3位)。春の高校バレー府予選 2-1 対摂津勝、2-0 対ブルー学院勝、0-2 対淀川女子負。春季部別大会 2-0 対柴島勝、2-1 対八尾勝、2-0 対関西女子勝(一部昇格)。インターハイ予選 2-0 対千里勝、1-2 対渋谷負。

定期戦 (男子) 57年度対天王寺 2-1勝、(女子) 57年度対天王寺 2-1勝。

【合氣道】

うだるような猛暑の中、部員一同合宿(7/25~29)に向け猛練習中です。57年度の合宿は8月天之武産合塾高槻道場で、先輩諸氏の御指導もあり成果大なり。

正月の越年稽古は吹田道場で、あの広い道場がむせ返る熱気で盛況。文化祭は6月12日、講堂に満員の観客の中、50分の堂々たる演武、割れんばかりの拍手を受けました。

6月18・19両日連続の新宮高校を迎えて、演武練習会。他に池田、北淀、桜塚、園田女子、帝國女子高校の参加、北野勢健闘、盛況に終了。

【水 泳】

公式戦 府大招待水泳競技大会男子 200m個人メドレー 早柏琢哉 2分41秒6(6位)、男子400mリレー 岬武、石田、早柏、小池 4分21秒6(6位)、女子100m平泳 宮崎雅子 1分30秒1(3位)。

【書 道】

文化祭は6月12日(日)に開かれ、良寛の詩を主に題材として、作品展示。阿部先生御所蔵の一休、沢庵、良寛の書、墨の銘品も展示しました。恒例の講堂での席書きも、書道部OGで、今年、本校講師でもある永田(旧姓松浦)先生の応援もあり、無事大作を書き上げました。

懇親の阿部先生を囲む会、名簿作り遅れていますと申証なく思っております。昨年会報発行後早速に、佐野様、坂田様、谷坂様、竹沢様、川本様より、名簿連絡を頂きました。有難うございました。この他どんなに少数でも結構ですから、当時の部員名簿近況等御連絡下さい。御協力の程お願い致します。

本年は創立110周年記念行事が予定されています。芸術発表会もその一環として、書道美術共に行われます。何かと御無理をお願いする事もあるうかと存じますが、よろしく御協力の程お願い致します。

【コーラス】

出演した演奏会 六校交歎音楽祭、新入生歓迎演奏会、本校58年度文化祭。

連絡

今年は、創立110周年記念式典に参加することになり六校祭に向けても、新入生8人を加えて練習に励んでいます。

【オーケストラ】

出演した演奏会 六校交歎音楽祭、新入生歓迎演奏会、57年度本校文化祭。

連絡

我がクラブも総勢70名を越え、充実した練習を送っています。しかし、その反面、運営面で問題が多発しその対応に頭を痛めている次第です。

110周年に関する学校行事その他

今年、本校は創立110周年を迎えます。

これまで我々は、本校の歴史の10年目ごとの節目々々に記念行事を行って来ました。

本校はいま、欧学校に始まる百年有余の歴史的所産の上におかれています。この長い伝統を、今後我々がいかに受け継ぎ発展させていくかが問題です。

そこで我々は、この節目ということに在籍している職員生徒が、この認識をさらに新たにするために、今秋、ささやかながらうちわの行事を予定いたしましたので、その概略を御紹介申し上げます。

【行事】

○記念式典

日 時 昭和58年11月2日(木)午前10時~11時45分

場 所 本校講堂及び教室

参加者 生徒及び教職員、各代表（招待者）

○記念体育大会

日 時 昭和58年10月2日(日)

場 所 本校運動場

参加者 生徒及び教職員

○記念講演会

日 時 昭和58年11月2日(木)午後1時~3時

場 所 本校体育館

参加者 生徒及び教職員

○記念展示

期 間 昭和58年11月1日(火)~4日(金)

場 所 本校図書館等

内 容 歴史的資料、本校出身者の文化遺産、現在活躍の方々の美術・工芸及び著者作品等の展示

【事業】

本年年度初頭に、創立110周年記念事業運営委員会が、P.T.A.、北親会及び北友会によって設立され、次のような事業が行なわれております。

○緑地環境の文化的整備

第13代校長、林 武雄先生の願い通り当時自ら植栽された木々が、大樹となり大きな隠れを作り出しております。その後、年々数々植栽されたものをあわせ、これらから我国の歴史、生活史の中に見いだされるものを整理整備して万葉植物園とするとともに、校地植栽図を作成することとしております。

○歴史的記念品の作成と頒布

明治35年から昭和6年までの間多くの先輩諸氏の学生生活を見守ってきた芝田町校舎の屋根にあった飾り瓦の縮小模型を、国宝・文化財等に指定されている寺社等の瓦の復元修復を手掛けられている瓦工業所の特別の好意によって作成を進めております。頒布の対象は、生徒及び教職員としておりますが、希望のある向きには、数量に限りがありますが、頒つことができると思います。

プロフィール 阪大微生物研でも分離 腎症候性出血熱ウイルス 山西 弘一 阪大助教授 (72期)



1960年1月から約10年間大阪市内で流行したあと、全国の医学研究機関で実験動物を扱う研究者を中心に発病している腎(じん)症候性出血熱の病原ウイルスを分離した、と大阪大微生物研究所（加藤四郎所長）が4日、発表した。7月末までにこのウイルスを基にして診断用国産反応セットをつくり、発病の危険性がある全国の研究機関約百ヶ所に配布するという。

今回、ウイルスの分離に成功したのは、山西弘一助教授(41)。山西助教授は、山之内孝尚教授らの協力により、ウイルスに感染したがん実験中のラットからがん組織を取り出し、特殊な培養細胞に植えた。その結果、韓国・高麗大の李錦汪ウイルス病研究所長が1976年、朝鮮半島の多発地帯に生息している朝鮮セスジネズミの肺や腎臓から分離したウイルスと同じ抗原を持つウイルスが増殖していることが確認された。

日本では昨年、国立予防衛生研究所の北村敬・外来性ウイルス室長を中心としたグループが、感染したラットの肺から分離に成功した。その後の研究で、韓国で分離されたものとかなり共通した抗原性を持っているが、反応症のわずかな違いから日本型ともいうべき別の株があるという。山西助教授は、北村室長らのウイルスとの比較実験は行っていないが、今後、感染経路、病気の性質を明らかにするため、さらにくわしい比較研究が必要だ。

この病気は、「韓国型出血熱」「流行性出血熱」ともいわれる。ネズミを仲立ちにして広がり、1ヵ月余りの潜伏期間を経て、39度前後の高熱、痛み、下痢、皮下出血などがあり、腎臓障害などが起こる。1938年以降、中国東北部で旧日本陸軍兵がかかったほか、朝鮮戦争のときも朝鮮半島中央部で国連軍兵が大量に発病した。またスカンジナビア半島でも同様の病気が報告されている。国内では大阪で119人発病（うち2人が死亡）したのが有名。しかし、1970年から始まった市街地改造計画により衛生状況が改善されると、患者の発生がとまり、それ以後こそ3月末まで国内で発病した124人はすべて実験動物室に関係した研究者。ところが、最近、日本の港や都市でつかまえたネズミがウイルスに汚染されていることがわかり、再び注目されている。（昭和58年6月6日朝日新聞朝刊から転載）

互 励 会 第50回卒業生 本年度総会は 110周年行事に合流して行います 是非ご参加を！